

中野駅新北口駅前エリアにおけるまちづくりの取組等について

中野駅新北口駅前エリアにおけるまちづくりの取組等について、以下のとおり報告する。

1 説明会・意見交換会の実施結果

(1) 中野駅新北口駅前エリアのまちづくりに関する説明会について

中野駅新北口駅前エリアのまちづくりの現状について説明会を実施した。実施結果については、以下のとおりである。

① 実施結果

実施日時	会場	参加者
令和7年5月28日(水) 19時～20時45分	区役所6階会議室	81名
令和7年6月1日(日) 14時～16時	産業振興センター	73名

② 寄せられた意見と区の見解

寄せられた意見と区の見解については、別紙1のとおり

(2) 中野駅新北口駅前エリアのまちづくりに関する意見交換会について

令和2年1月に策定した「中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（以下「再整備事業計画」という。）」における拠点施設整備・誘導の基本方針や拠点施設に求める機能等について、区民との意見交換会を実施した。実施結果については、以下のとおりである。

① 実施結果

形式	実施日時	会場	参加者
ワークショップ形式	令和7年7月23日(水) 19時～21時	野方区民活動センター	20名
質疑応答形式	令和7年7月26日(土) 10時～12時	産業振興センター	42名
ワークショップ形式	令和7年7月29日(火) 19時～21時	南中野区民活動センター	18名

② 主な意見の概要

主な意見の概要については、別紙2のとおり

2 中野駅新北口駅前エリアのまちづくりにおける今後の取組

再整備事業計画の見直しに当たって、以下の取組を行う。

(1) インターネットを利用した意見募集

- ① 実施時期
9月下旬～12月下旬
- ② 実施方法
WEBフォーム（ロゴフォーム）による無記名アンケート
（希望者には紙によるアンケート用紙を配布）
- ③ 意見募集概要
再整備事業計画における「拠点施設整備・誘導の基本方針」で求める機能や施設等について、区の考え方を紹介するとともに、意見を募集する。なお、意見募集は「拠点施設整備・誘導の基本方針」の項目毎の実施を予定している。
 - ・中野のシンボルとなる新たな文化・芸術等発信拠点の形成（9月～10月）
 - ・公共公益性の向上につながる空間構成、持続可能性を高める用途構成や機能（11月～12月）
- ④ 周知方法
区報（9月20日号）、区ホームページ、区SNS等

(2) サウンディング型市場調査について

- ① 目的
民間事業者との対話を通じて市場の動向や活用アイデアを把握し、民間事業者公募に向けた条件の整理を行うとともに、中野駅新北口駅前エリアのまちづくりに関して優れた事業提案を促すことなどを目的に実施する。
- ② 実施時期
 - ・9月上旬：区ホームページにて実施要領の公表
 - ・10月下旬～：事業者ヒアリング
- ③ 主なヒアリング内容
 - ・中野駅周辺と中野駅新北口駅前エリアのまちづくりに関する見解・評価
 - ・事業スキームに関すること
 - ・不動産・建設市況に関すること
 - ・中野駅周辺の用途ニーズに関すること
 - ・区の従前資産活用に関すること
 - ・事業参画に関すること
 - ・再整備事業計画に関すること
 - ・自由提案、意見など
- ④ 参加対象者
複合用途（事務所、店舗、住宅、ホテル、ホール等）の拠点施設整備の事業に関して実績を有する事業者（企業・法人又は企業・法人のグループ、開発規模1ha以上）

3 今後の予定

- | | |
|-----------|---------------------|
| 令和7年11月頃 | 区民意見交換会 |
| 令和7年12月 | サウンディング型市場調査結果概要の報告 |
| 令和8年 3月以降 | 再整備事業計画の見直し |

中野駅新北口駅前エリアのまちづくりに関する説明会 寄せられた意見と区の見解

No.	区民の意見	区の見解
事業計画の見直し方針に関すること		
1	施行予定者から示された事業計画の見直し方針について、公平性・中立性の課題とは何か。	施行予定者から示された事業の見直し方針は、当初の提案内容で評価された点を変更するなど、公募手続きや当初提案の継承性について公平性・中立性に課題があった。
2	最初の施行予定者からの案は事業計画にあったのか。	施行予定者から示された当初提案は、再整備事業計画のコンセプトを実現する事業という認識である。
3	施行予定者から示された事業費についてやむを得ないとした理由は。	施行予定者は、多くの民間開発事業の実績や建設・不動産市況に関する高い知見を有する企業で構成されており、その施行予定者の責任と判断で示された事業費は、物価高騰の中、妥当であると判断した。
新北口駅前エリアの再開発に関すること		
1	これまで区、施行予定者が負担した費用について、お互い損害賠償しないのか。	施行予定者と締結した基本協定では「施行予定者が責を負うべき合理的な理由が認められる場合」に協議することができるものとされている。今回の施行認可申請の取り下げは、想定外の物価高騰によるものであり、施行予定者が責を負うべき合理的な理由はないと考えられることから、互いに損害賠償請求は行わない。
2	他の区立美術館、区立博物館では、子どもたちの絵画コンクールや工作物のコンクールを行っている。親たちが、子どもたちの作品を見に行く場所がない。区はこのような公共性についてどう考えているのか。	市街地再開発事業の中で様々な施設の整備を考えている。サンブラザのDNAを継承したホールを整備することで音楽イベントなど様々なイベントを実施できる、文化芸術の発信拠点にしたいと考えている。子どもたちの文化・芸術活動を発信する場については、今回の再整備事業計画の一部見直しを検討していきたい。
3	再開発について民間活力の活用といっても簡単に民間事業者が出てこないのではないか。他の再開発事業でも工事費の高騰により、事業を中断している。新区役所の整備費約220億、区債をどう返還していくのか。	民間事業者の参加については、サウンディング型市場調査による民間事業者との対話により、民間活力を導入しやすい条件等を整理していく。新区役所の区債のうち45億円については令和6年度に返済しており、残りの71億円についても計画的に返済する。
4	新たな価値の創出で多目的ホールとあるが、7000席を想定しているのか。多目的ホールがサンブラザのDNAを継承できるものではない。2222席の良さがサンブラザの特徴。2000席と7000席とは全く違う。維持管理コストも変わってくる。ホールの維持管理コストはだれが負担するのか。	再整備事業計画では、ホールについては最大収容人数を7000人程度、着席で5000人を想定している。中野サンブラザのDNAの継承、ポピュラー音楽のイベント等、次世代の発信拠点にしたいと考えている。維持管理費については、民設民営を想定しているので、負担は事業運営者が負担するものと考えている。
5	ホールの需要は高いので、ありがたい。敷地をずっと放置するのはもったいない。ホールや子育て施設は早期に着手してもらいたい。公共部分だけ先に整備する予定はないのか。	ホールなど施設の段階整備については、今後、民間事業者と意見交換しながら検証したい。子育て施設やバリアフリー施設など、区民の利便を高める施設やホール・広場など、賑わいを創出する施設は、早期に整備を進めていきたい。
6	旧区役所・中野サンブラザ再整備のコンセプトについての図は抽象的である。再公募の際は、具体的なものを出すのか。民設民営になると思うが、中野区はどのように関わっていくのか。	旧区役所・中野サンブラザ再整備のコンセプトの図は、令和2年時点のものである。今後の再整備事業計画見直し作業において、コンセプトを実現するための方策の具体化なども整理して再公募を行ってほしい。基本的に民設民営を前提にしているが、中野区は地権者でもあるので、再整備の機能や目標を定めていくとともに、子育て施設など必要な施設の誘導等で関与していく予定である。
7	事業スキームの有効性も分からないので、コンセプトも社会情勢に合わせて考え直してほしい。	今後は区民や関係団体と意見交換を行い、サウンディング型市場調査により社会情勢を踏まえながら再整備事業計画の見直しを進めていく。事業スキームについても区民に説明しながら、新たな推進体制を検討していく。
8	土地の評価は既にきまっているのか。若い声を聴くのは賛成だが、計画が遅れるほど区民の財布が負担になってくる。	従前資産については、事業の進捗に応じて改めて再評価を行う。事業の遅れにより、区民が受ける利便の発現が遅れるため、着実に事業を進めていきたい。
9	コンセプトのDNA継承についての内容がわからない。2000席のホールは、平日昼の稼働率がよかった。7000人にする平日の昼は稼働率が悪くなる。運営スキームも含め見直してほしい。住宅棟があるところは民間の土地になる。定期借地権の検討をおこなった形跡があるが、状況が変わっているので十分検討してほしい。民設民営ホールでなく、公共運営ホールでしてほしい。子どもの遊び場、交流施設を入れた用途変更案も考えてほしい。	これまで中野サンブラザが担ってきた役割や機能の継承をコンセプトの一つに掲げている。ホールについては現在7000人規模を想定しているが、市場動向も考慮したうえで再検討を行う。区の従前資産については、権利変換による子どもの遊び場施設の取得や定期借地権による土地活用なども検討していきたい。
10	事業計画も白紙にするべきではないのか。	区としては、まちの課題を解決するために再整備事業が必要と考えている。再整備事業計画については今後意見交換しながら見直しを図っていく。
11	波及効果を試算してないといったが試算してほしい。比較できない。	波及効果については、中野サンブラザの来場者数は算出できるが、来場者によるまちへの波及効果は算出できない。

中野サンプラザの活用に関すること		
1	解体までの移行期間で区民が使うことができるのか。安全な建物と言い切れない中で、利用価値は一定あると思うが、解体期日が決まるまで、事業方針が確定するまでの間は、少しでも利用できるのか。	着工までの間、建物の周辺など有効に使えるものは活用していきたい。また、外壁の活用も含めて検討していく。
2	中野サンプラザを現状維持し、大規模改修して再利用してもらいたい。大規模改修費用を100億円と言っているが、改修費用をより正確に適正に算定してもらいたい。	中野サンプラザと旧区役所を一体的に整備することで、まちの課題、まちのコンセプトを実現できると考えている。中野サンプラザの改修費用については、「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」の単価を参考に算出しているが、一定の基準で試算したもので、概算額の把握に有効なものだと考えている。大規模改修の概算段階で100億円以上の費用が見込まれるため、建物の再利用は難しいと判断している。
3	中野サンプラザを直すか100億円かかるというが、解体するといくらかかるか。今後どうするか計画がない中で、解体するかをジャッジするのか。	これまで進めてきた市街地再開発事業における旧区役所と中野サンプラザの解体工事費は、合わせて100億円程度が見込まれていた。
4	中野サンプラザについてリノベーションも選択肢のひとつとして、賑わいの創出をしてほしい。また土地を手放さないようにしてもらいたい。	まちの課題を解消し、目指すまちの将来像を実現するためには、中野サンプラザを残したままでは実現できないことから、リノベーションによる再利用は考えていない。また、従前区有地の活用については、定期借地権制度の活用も含め検討していく。
今後の事業の進め方に関すること		
1	計画の見直しについては区議会の議決が必要なのか。区民との意見交換の方法について、元々の事業計画の前提が変わっているため、どういう前提が変化したのか説明をしてから意見を聞いてほしい。案を3案程度出すなどの意見交換はできるのか。	再開発事業等により事業者との協定を締結したり、変更したり、解除する場合は、議会の議決が必要となる。現在、施行予定者と締結している協定の解除についても議会の議決が必要となる。意見交換の方法については、ワークショップ形式、説明会形式、インターネットによる意見募集などにより、意見収集を行ってほしい。まちの課題や目指すまちの姿など、再整備事業計画の前提は変わらないが、物価高騰など社会情勢の変化について説明した上で、意見収集を行いたいと考えている。また、意見収集にあたっては、案を複数出すのではなく、現在の再整備事業計画について意見をいただく方法で意見交換会等を実施していきたい。
2	中野サンプラザに思い出があるが、建替えは仕方ないと思う。デザイン的な魅力、社会に誇れる、中野の新しいモニュメントにするなど、中野サンプラザを超えるものをぜひ考えてほしい。幅広く区民の意見を聞いていくとあるが、忙しい中で来られない人がたくさんいる。ITを活用して幅広く意見を聞く機会を設けてほしい。	現在の中野サンプラザについて、愛着を持っている区民が多いことは認識している。ご要望を聞きながら、機能やデザインなど次世代に繋げていくように検討していきたい。意見募集については、説明会形式、関係団体ごとのテーマ別意見交換、インターネットを活用した意見募集も行っていく。
3	事業コンセプトから見直すべき。	再整備事業計画のコンセプトは、13回の区民会議を経て定めたものである。一方で再整備事業計画については、物価高騰などの社会情勢を踏まえながら区民等の意見を求めて必要な見直しを行う。
4	(株)まちづくり中野21の役割は何なのか。若い人の意見をどう聞いていくか。	(株)まちづくり中野21は中野サンプラザを所有している民間企業である。中野サンプラザの全体について議論する主体ではない。今後、意見交換会、説明会の中で子どもや若年層、子育て世帯などの意見を聞いていきたいと考えている。
5	中野らしさが理解できない。大規模にやるのであれば、中野5丁目も合わせて考えないといけない。中野サンプラザは中野のアイコンである。都心のようなオフィスはいらぬ。	旧区役所と中野サンプラザの一体的整備は、様々な議論を経たものであり、再整備事業計画の中でも中野5丁目との連携を想定しており、回遊性などを実現していきたい。中野サンプラザのDNAについては、文化・芸術の発信拠点としていく計画である。
6	障害を持った人のモニタリングをしてほしい。富裕層向けではないグループホームなど、健常者のことしか考えないことがないようにしてほしい	今後、福祉団体、障害者の方との意見交換についても実施していく。区は従前資産の活用として、まちの課題や行政課題に資するような運用を検討していく。
旧中野区役所に関すること		
1	歩行者デッキをつくるため、区画整理事業で低層棟を解体しているが、区画整理事業でサンプラザも壊すことが可能なのか。	旧区役所低層棟については区画整理事業で解体しており、高層棟についても区画整理事業で解体する方向で調整中である。中野サンプラザの解体については、現在予定していない。
再公募に関すること		
1	再公募を実施した結果、野村不動産株式会社という結果もあり得るのか。	再公募において、これまでの施行予定者を除外することは考えていない。
緑化に関すること		
1	中野はほとんど緑がなくなっている。再開発といえばビルを建てることばかりが目についているが、緑は人間らしく過ごすため必要である。	中野駅周辺地区では四季の森公園もあり、再整備事業計画の中でもみどりのネットワーク形成を考えてきた。取り下げた市街地再開発事業の事業計画では2倍以上のみどりの創出を定めていた。今後も低炭素化、環境性、防火性を意識しながら持続可能なまちをつくってほしい。

その他に関すること		
1	中野サンプラザの閉館するタイミングを見誤ったのではないか。	中野サンプラザの閉館に当たっては、事前告知や運営会社社員への対応など必要な措置を行ったうえで適切に行ってきた。
2	株式会社まちづくり中野21の運営の台帳をみせてほしい。純利益1億円から2億円は疑問がある。	(株)まちづくり中野21の経営状況については、区のホームページ等で確認できる。
3	再開発で人口増えるが半径500メートル以内で、今までの住民何人、今現在で何人なのかを参考に提示してほしい。	中野区の人口については町丁目単位で区ホームページに掲載している。
4	説明会のポスターを見なかった。区民周知されていたのか。	周知については、区ホームページ、SNS、区報、一部駅前にポスターを貼るなどして行っている。

中野駅新北口駅前エリアのまちづくりに関する意見交換会 主な意見の概要

No,	主な意見の概要
中野のシンボルとなる新たな文化・芸術等の発信拠点の形成	
(1) 多目的ホールに関すること	
1	芸人などのホールを使う人や専門家の意見をホールのサイズに反映すべきである。
2	ゼロホールとの関係性なども考慮し、地域交流を促すような施設がほしい。
3	芸術作品の展示室やダンスなどに利用する表現の場がほしい。
4	ホールは中野サンプラザDNAの継承のために必須。3000人規模と1000人規模と500人規模の3つができるとうい。
5	中野サンプラザと同程度の規模のホールがよい。
6	今のホールよりやや大きいホールがよい。
7	中ホールを2つ、小ホールを1つとし、大ホールは不要である。
8	サントリーホールのような小規模のステージを複数ほしい。
9	新宿109の3Dシアターの様な劇場を小ホールで用意してほしい。
10	ホールは大小1つずつがよいと思う。
11	サンプラザは中野区外から見ると「コンサートホール」のイメージが強かったが、BtoBの展示会（平日）同人誌即売会（土日祝日）などが出来る展示ホールも良いのでは。また、映画館が中野に欲しい、という意見もある。
12	7000人規模のようなあまり大きなホールは不要だと思う。
13	スタジオ練習、リハーサルなどに使えるような、可変式ホールがよい。
14	成人式や保育園の謝恩会など、区民の生活に必要な規模で大きさを決めてはどうか。
15	ホールは欲しいが、機能やキャパシティなどは運営主体の分析の下で規模を考える必要があると思う。収支とターゲットを考えて計画する必要があると思う。
16	公共団体用のフロアがほしい。
17	大会議場がほしい。
18	卒業パーティーなど、区民が集える場がほしい。
19	E-sportsやプロスポーツが開催できる体育館ができるとよい。また、区民が一体となれるプロチームが招致できるとよい。
20	美術ギャラリーが中野の街中に点在していると回遊性が高まると思う。区営の子どもスペースもあるとよい。
21	中野の歴史が学べるワークショップやイベントができる施設がよい。
22	若年者のHIPHOPが盛んなので、ダンス系の大きなイベントを行う上でもホールは有効だと感じる。
23	アールブリュット等は路上では見づらいので、そのようなアーティストのイベントが行うことができるホールにしてほしい。
24	団体がイベントなどをするのに利用しやすい会場がほしい。
25	2.5次元の舞台演劇が上演できるホールを作ってほしい。
26	区民がライフステージの節目で使えるような施設がほしい。
(2) 展望施設に関すること	
1	中野区が見わたせる展望台がほしい。
2	展望施設について、無料で入れるエリアを多くしてほしい。デベロッパーに任せないで区の施設にしてほしい。
公共公益性の向上につながる空間構成	
(1) 広場に関すること	
1	緑化を充実してほしい。
2	区民が花を植えたり管理する花壇がほしい。
3	樹木だけではなく、芝生でくつろげる空間が欲しい。また、水の流れや音が感じられるとよい。
4	避難場所としても使える、子どもが遊べるような緑の多い広場空間にしてほしい。
5	くつろげる空間には、例えば帯広の400mベンチなど、ランドマークとなるものがあるとよい。
6	広場にはトイレを多く整備してほしい。
7	広場には災害準備品のストックと帰宅困難者に対応する設備を作ってほしい。

No,	主な意見の概要
8	中規模イベントを行うことができるような、緑ある広々とした空間がよい。
9	平日でもランチができるような広場がほしい。
10	旧区役所跡地は広場や公園にしてほしい。
11	公園兼避難所として活用してほしい。帰宅困難者の収容場所も必要だと思う。
(2) 歩行者ネットワーク・歩きたくなるまちなかづくりに関すること	
1	緑豊かで、ウォーカブルな通路にしてほしい。また、その通路でお店ができるとよい。
2	中野駅北口まで日陰で行ける道やベンチの整備をしてほしい。
3	自転車動線を整備してほしい。
4	駅からバス停まで濡れないように屋根が欲しい。
5	歩道にベンチを置くべきである。
6	施設には、迷わない案内施設を設置してほしい。
7	区役所と四季の都市の回遊性を考慮した施設がよい。
8	高齢者が多い街ながら、若者、ビジネスマンも多い。歩くスピードが違うので、それぞれが自然と歩き分けられるような街づくりをしてほしい。
持続可能性を高める用途構成や機能	
(1) 子育て支援施設に関すること	
1	オフィス需要と連動した保育・子育て施設を作してほしい。
2	子ども用品が買えるお店や、子どもと食事ができるお店が欲しい。
3	キッズシアターや科学館のような、子どもが学べる施設がほしい。
4	フードコートや子どもの遊べるフロアを作り、子供が育てやすい町アピールするとよい。
5	子どもや学生が遊びや勉強に利用できるサードプレイスがほしい。
6	子育て世代が集まり、交流できる施設がほしい。
7	駅前の立地を生かした保育所がほしい。
(2) 用途構成に関すること	
1	大企業を受入れ可能なビルを整備し、昼間人口を増やしてほしい。
2	分譲マンションはやめてほしい。賃貸住宅、ホテルであればよい。
3	住宅はやめてほしい。
4	住宅を作るなら、ファミリー世帯向けの住宅がよい。
5	住宅は区営とし、若者向けや職員向け（災害対応）を検討してほしい。また、アニメ等の趣向をこらしてほしい。
6	駅前に高層マンションは不要である。アリーナ以外のスペースは公園で良いと思う。
7	ホテルは区民が親族を呼ぶ用途にも使えるので良いと思う。
8	安く泊まることのできるホテルがほしい。
9	文化イベントが生まれるような、共有スペースの大きなホテルがよい。
10	100年間使い続けられるような用途を備えた施設がよい。
(3) バンケット・コンベンションホールに関すること	
1	ギャラリー、バンケット・コンベンションホール機能が必要だと思う。
2	中野サンプラザにあったようなバンケット・式場レストランができるとよい。
その他	
(1) その他施設や機能に関すること	
1	大規模な病院を誘致してほしい。
2	使いやすい飲食店がほしい。
3	インバウンドを取り込む必要がある。
4	外国から来た人が住みやすいまちにしてほしい。
5	外国人が日本文化を教えてもらえるスペースがあるとよい。
6	ZEB認証を受けることができるような、環境に配慮した建物がよい。
7	日本庭園や、屋上庭園がほしい。

No,	主な意見の概要
8	採算がとれない設備は不要である。
9	時代に対応できる多様な用途とイベント企画が必要である。
10	中野のサブカルチャーとの連携が必要である。
11	様々な世代が立ち寄れる公共空間がほしい。
12	高齢者と子どもが出会い、一緒に遊べる空間がほしい。
13	高齢者向け施設と子ども向け施設を併設してほしい。また、緑豊かな憩いの場にしてほしい。
14	府中駅前のような子育て世帯からシニアまでくつろげる場がほしい。
15	桜以外の季節もお花見を楽しめるスペースがほしい。
16	高齢者向け住宅を作ってほしい。また、そこに住む高齢者が働くことが出来る商業施設を作ってほしい。
17	商業施設には、中野区内商店が出店しやすい小規模区画があるとよい。
18	チェーン店だけではない、商店街らしい商業施設になるとよい。
19	様々な世代や需要に対応した店舗の入るショッピングモールがほしい。
20	映画館や美術館などを作り、区外からも人が集まるようにできるとよい。
21	新しい施設には、なんでも相談できるわかりやすい案内所がほしい。
22	中野サンプラザから、全てをグレードアップした施設がほしい。
23	デザイン性の高い、中野を象徴するようなシンボル性の強い施設になるとよい。
24	どこにでもあるようなビルを建ててもシンボルにはならないと思う。
25	将来中野区で出店したい人が優先的に使えるテナントがあるとよい。
26	創業を支援する施設が集まり、創業を考える人が交流できるとよい。
27	区民が気軽に身体を動かせるような体育館を作ってほしい。
28	地域活動を行う区民の拠点になるとよい。
29	駐車場・駐輪場を整備してほしい。
30	バリアフリーな屋内施設がよい。
31	渋谷Bunkamuraのような高水準の芸術拠点にしてほしい。
32	中野にあるアニメ会社が集結し、アミューズメント施設が作れるとよい。
33	文化施設中心に特徴を持たせるのはよい。
34	マンガやアニメのイベントスペースがあるとよい。
35	マンガやアニメの関係施設を誘致してほしい。
36	東京駅の地下にあるような防災トイレを設置してほしい。
37	災害に強い施設にしてほしい。
38	インバウンド需要ではなく、まず区民の生活、安全のための施設がよい。
(2) その他の意見に関すること	
1	定期借地権や普通借地権を検討してほしい。
2	頓挫した計画を早く進めてほしい。
3	住宅には中野区居住年数が長い方を優先してほしい。
4	若者の声を聴いてほしい。
5	中野区の南北住民の交流の場になるとよい。
6	煙を完全に外に出さない喫煙所を整備してほしい。
7	専門家の意見を取り入れ、低いコストで施設を作ってほしい。
8	高層の建物でなく、緑の公園を整備してほしい。
9	歩道を歩くと発電する機能とか蓄電池で街灯をてらすとか、節電をコンセプトにしてほしい。
10	主役は区民であり、誰もが使える施設であってほしい。
11	今回の見直しはラストチャンスであるため、この機会を大切にしっかりとしたビジョンを示してほしい。
12	武蔵野公会堂改修基本計画、武蔵野市まちづくり吉祥寺駅周辺を参考に既存施設をベースに工事設計業務公募型プロポーザルを実施すると”中野らしい”日本、東京の注目となる文化・芸術拠点になると考えます。

No,	主な意見の概要
(3) 中野サンプラザに関すること	
1	サンプラザのDNAを継承した施設になってほしい。
2	サンプラザの外観の一部だけ残した建築物がよい。
3	規模を大きくした中野サンプラザそっくりの建物がよい。
4	中野サンプラザを残してほしい。
5	中野サンプラザを再利用してほしい。
6	サンプラザ解体が必要な理由をきちんと示してほしい。
7	サンプラザを再利用した場合と再開発を行う場合とで、見積もりを出して欲しい。
8	サウンディング型調査では、中野サンプラザのリニューアル提案も入れてほしい。
9	サンプラザを修復して壊さずに使うため、しっかりと専門家による調査をしてほしい。
10	サンプラザを壊すことが前提の見直しではなく、北口エリア再開発事業計画の全部の見直しをしてほしい。
11	広域から大規模に集客するような施設というよりも、旧サンプラザホールのDNAを継承するという部分を重視してはどうか。実際旧サンプラザの何が良かったのか、議論は必要である。